

【主催：文化庁国語課 地域日本語教育推進室】
令和5年度都道府県・市区町村等日本語教育担当者研修

都道府県と市区町村 が密接に連携した包 括的な日本語教育の 実施体制構築

令和6年2月15日
長崎県文化観光国際部
国際課多文化共生チーム 杉本真理

地域日本語教育
の総合的な体制
づくり推進事業
活用



長崎県



長崎県の概要

●人口 1, 265, 037人

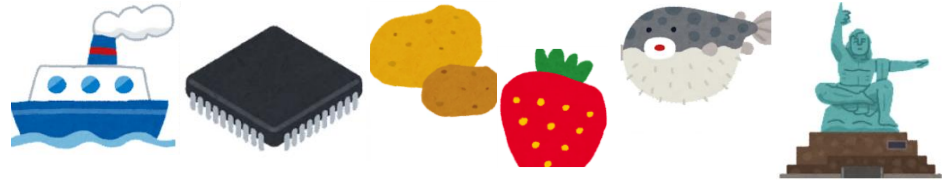
●島の数日本一
(1, 479 (うち有人離島74))

●縄文時代から続く大陸との交易

●主要産業：造船業、半導体

●その他の特色ある産業

- ・漁業（漁港数、漁獲量全国1位）
- ・農業（ビワ生産量全国1位、じゃがいも・イチゴ生産量全国3位）
- ・観光業（高校生修学旅行行先ランキング1位）



Ⅱ-1. 県内各地の様々なプロジェクト

対馬博物館 開館

日本初の無垢製材あらし木造4階建てビル

日本初の常設城泊(平戸城)

アジフライの聖地 松浦

九十九島観光公園の整備

県内各地で様々なプロジェクトが進行中

西九州新幹線

肥前葉菜園における周遊促進

Smart GOTO 地方版Maas「Smart GOTO」の社会実装

民間投資(ホテル建設)の活発な離島地域

固定翼型ドローンによる医薬品配送サービス

長崎駅周辺のまちづくり

新大村駅 諫早駅

(諫早駅周辺) (新大村駅) 新幹線駅・駅周辺の開発

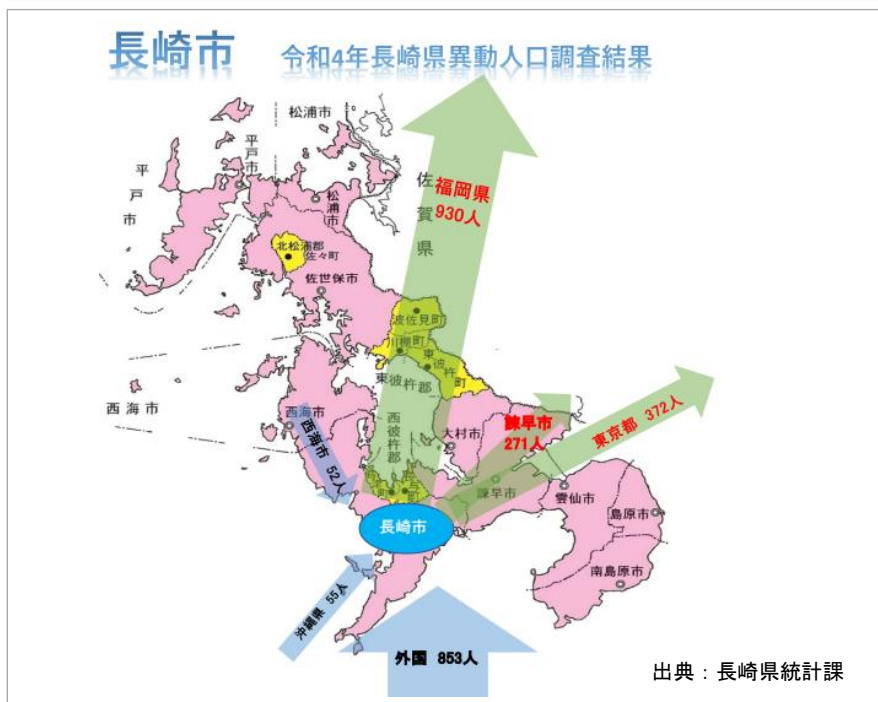
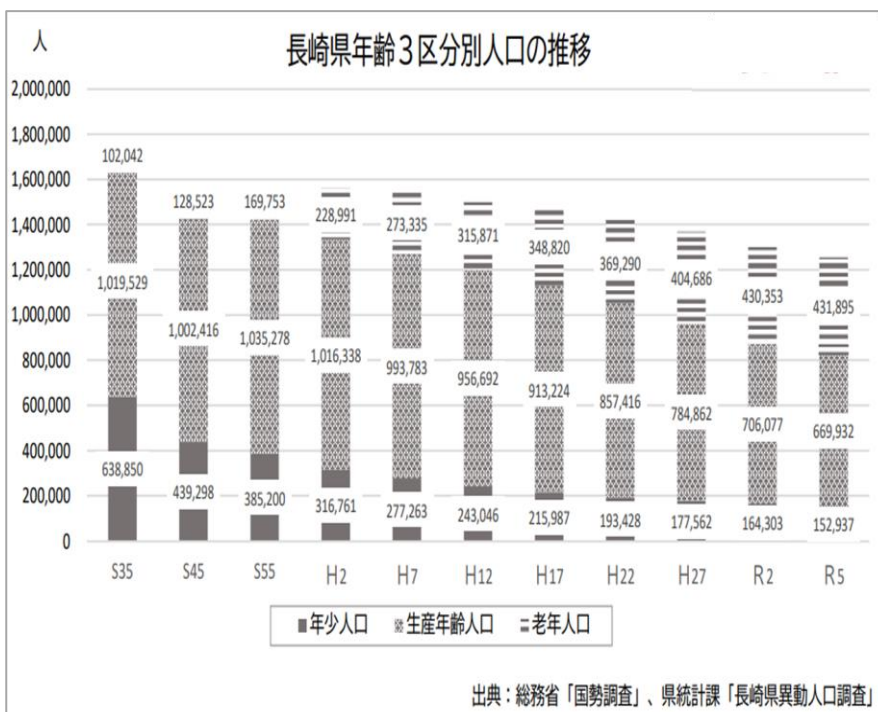
リニューアル等が進む雲仙温泉地域

サイクルツーリズムの推進

長崎県の現状①

● 少子高齢化

● 長崎市の転出超過全国ワースト3位



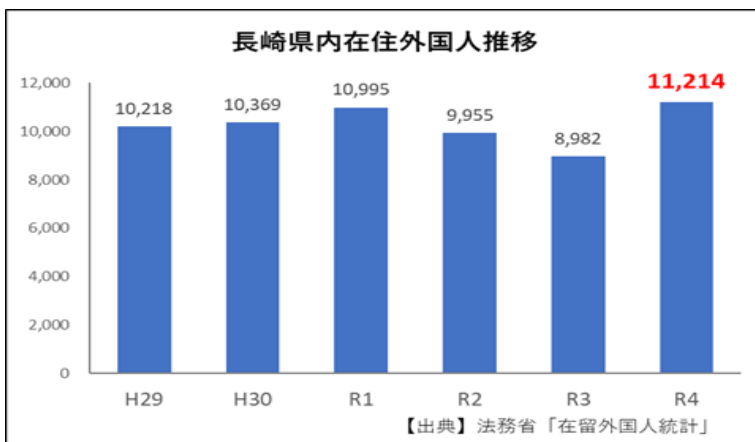
長崎県の現状②

●令和4年度 対前年比外国人労働者増加率全国1位（20%超）

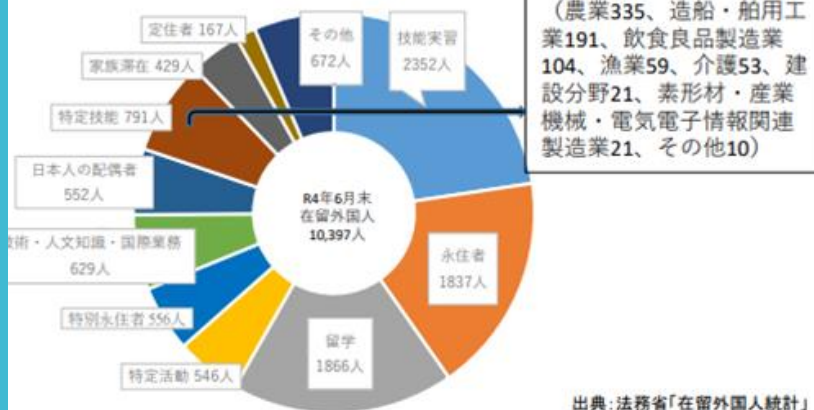
●在住外国人の6割以上は労働者

●技能実習、特定技能が3割以上

●最も多い国籍はベトナム

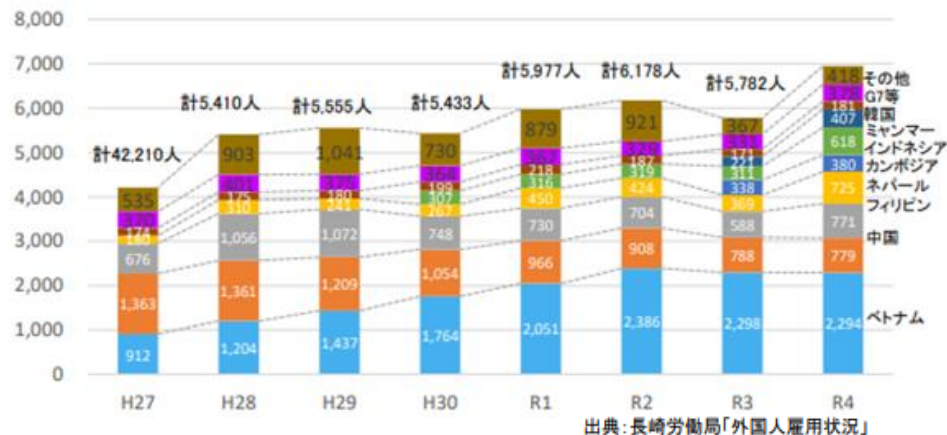


【在留外国人の内訳】



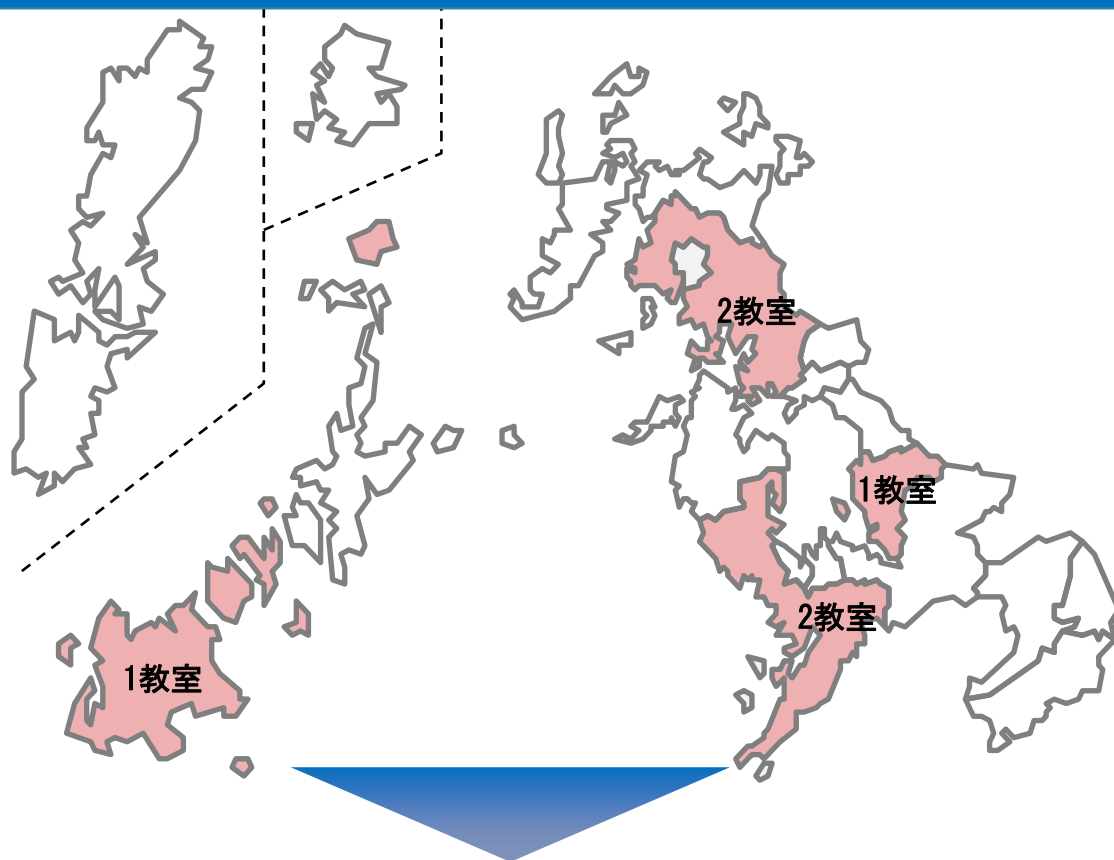
R4.10月現在：794名
 （農業335、造船・船用工業191、飲食食品製造業104、漁業59、介護53、建設分野21、素形材・産業機械・電気電子情報関連製造業21、その他10）

【国籍別の外国人労働者数の推移】



実施前【令和3年度】 4市町 6教室

- ・空白地域地域多数
- ・地域の実態把握ができてない



★地域の外国人住民のニーズ等実態を調査
⇒【目標】令和7年度に11教室

県内21市町の
取組前の
現状と課題

目指す姿と 施策の方向性

目指す姿

- 古来からの海外との交流や被爆地としての経験等から培った異文化への理解や多様性への寛容さなどの本県の特性を活かしながら、地域住民等が参画できる日本語教育を通じて、外国住民が地域社会の一員として地域づくりに参画できる多文化共生社会を実現する

施策の方向性

- 地域日本語教育の促進体制の構築
- 地域主体による日本語教室の設置促進
- 地域日本語教育に関する情報提供の充実
- 地域住民の相互理解促進に向けた取組の促進

長崎県地域 日本語教育 推進事業の 体制



総合調整会議

(有識者、各種関係機関等)

事業主体

意見
交換



長崎県

総括コーディネーター

補助・
連携



国際交流協会

地域日本語教育
コーディネーター
(日本語教師)

連携



県内市町

長崎県における地域日本語教育の推進ロードマップ

【事業の目的】地域の多文化共生の推進であり、その拠点となる日本語教室の設置促進を図る。

	R 4	R 5	R 6	R 7~
1 多文化共生や日本語教室の意義、魅力の理解促進 ・市町職員等セミナー	・事業説明会 (9月) ・第1回研修 (10月) ・第2回研修 (11月) ・第3回研修 (12月) ・事業報告会 (3月)	◇R 5以降の研修は、市町等のニーズも踏まえて実施を検討する。		
2 新たな日本語教室の設置に向けた環境整備 ①学習支援者養成講座 ↓ ②モデル教室	(新規教室設置候補) 島原市 大村市 南島原市 長与町 新上五島町	養成講座 松浦市 西海市 雲仙市 東彼3町	モデル教室	教室の継続・自走化
3 既存教室の体制強化 ・文化庁補助制度の活用検討	◇県・市町による協議が整い次第導入。⇒R5~導入済	◇市町別関係者MTを開催しながら、地域の実情にあう運営体制を構築していく。 ◇新規教室設置候補市町は各市町の意向も踏まえて県・協会で選定。 ◇学習支援者養成講座、モデル教室の取組内容は、協会の専任職員がコーディネートする。 ・長崎市、佐世保市、大村市		

事業の流れ と市町への 理解促進

●市町を対象にセミナーや市町と一緒に隣県の先進地視察を実施し、多文化共生・日本語教育への理解を促進（R4）



●市町毎に外国住民の統計や傾向を分析し、多文化共生・日本語教育の必要性を説明（R5）

●実施市町への協力依頼内容

- ①公民館等場所の提供
- ②広報の協力
- ③教室開催時は市町職員も参加



●各市町で日本語学習支援者を養成後、地域日本語モデル教室を実施

- ①日本語学習支援者養成講座
(オンライン講義3回、外国住民との対面2回で1セット)
- ②地域日本語モデル教室



日本語学習支援者養成及びモデル教室実施例

①日本語学習支援者養成講座実施日時及び場所を実施市町と打ち合わせ

②日本語学習支援者養成講座（オンライン回）を実施（市町はサテライト会場運営）

③日本語学習支援者養成講座（対面回）を実施

④地域日本語モデル教室実施日時、場所、内容等を実施市町と打ち合わせ

⑤モデル教室実施（以降④、⑤を繰り返す）

進行表例

第1回●●市日本語教室の開催について

日時：●月●日(日) 13:30~15:30
 場所：●●●●●●●● (長崎県●●市●●町●●番地)
 運営：●●市●●課●●係 ■■■■
 長崎県国際課 ■■■■、■■■■
 長崎県国際交流協会 ■■■■
 参加者：ボランティア●●名程度(未定)
 外国人住民●●名程度(未定)

進行時間	所要時間	内容	詳細
13:00	30分	開始前準備(会場設営等)	
13:30	5分	活動開始、挨拶	
13:35	10分	テーマ前に… グループで自己紹介、節分の話	
13:45	15分	テーマ①：好きな言葉 ファシリテーターがテーマを導入し、参加者はそのテーマについて用紙に記入した後グループで話す。 ・どんな意味の言葉か?等	
14:00	60分	テーマ②：書道にチャレンジしよう 先程話した好きな言葉を中心に筆で書いてみる。 書道セットの説明等をファシリが先に導入する ・筆、墨など	
15:00	10分	書いた作品の全体共有	
15:10	15分	全員で片付け	
15:25	5分	ふりかえり・お知らせ	
15:30	30分	終了・運営で片付け	
16:00	—		

モデル教室 実施例

活動シート例

■□2/4 テーマ：書道にチャレンジしよう！□■

●グループの人

なまえ				
-----	--	--	--	--

●新しいことば

●わたしの好きなことば

* わたしの好きなことばは (Dekat di Hati)です。
 (Dekat di Hati)は、(心は近くにありますが)という意味です。




* わたしの好きなことばは (感謝)です。
 (感謝)は、(ありがとう)という意味です。

*わたしの好きなことばは ()です。
 ()は、()という意味です。

*好きな言葉を書きましょう!

如月 立春 平和 家族 母 幸せ 夢 松浦 仕事 休み

●書道にチャレンジしよう!

書道…calligraphy  筆…ink brush  墨…calligraphy ink 

市町との 役割分担

講座/教室	項目	県・協会	市町
日本語学 習支援者 養成講座	日程調整・内容決定	◎	○
	住民向け広報	○	◎
	外国人従業員雇用企業等への 広報	◎	○
	オンライン配信	○	
	(オンライン回) サテライト 会場設置・運営		○
	(対面回) 会場設営・運営	◎	○
モデル 教室	日程調整・開催場所決定	○	◎
	開催テーマ選定	○	◎
	住民向け広報	○	◎
	外国人従業員雇用企業等への 広報	◎	○
	教室内容詳細決定	◎	○
	会場設営・運営	◎	◎

日本語学習支援者養成講座 及びモデル教室の参加者と 地元自治体の感想

グループで話すことができているいろいろな場所も教えてもらってとても楽しかったです。これから来たいです。（技能実習生）

この取り組みは、行ったことのある言語学習の中で一番よかったです。〇〇さんは本当にいいパートナーでした！（ALT）

一方的な単なる指導者というのではなく、お互いに歩み寄りながら、学んだり、助けられたり、安心したりできるものだと感じた。（日本人）



日本語学習支援者養成講座

やさしい日本語で地域との交流を深められるような場作りを行い、参加者が対等な関係を築けるような運営をしていきたい。（自治体職員）

今後の関係各所（商工会、農協、漁協等）との連携の必要性を実感。次年度に向けて、近隣店舗や町内会への周知依頼も実施中。（自治体職員）

みんなで歩いたり、一緒に話ができ楽しかった。（技能実習生）

次のテーマにも興味があるし、色々な出会いがあり楽しいです。（日本人）

本市で初めての日本語教室ということで、顔合わせも兼ねてレクリエーション形式で開催した。今後も、友達とおしゃべりに来る感覚で気軽に参加してほしい。（自治体職員）



日本語学習支援者養成講座

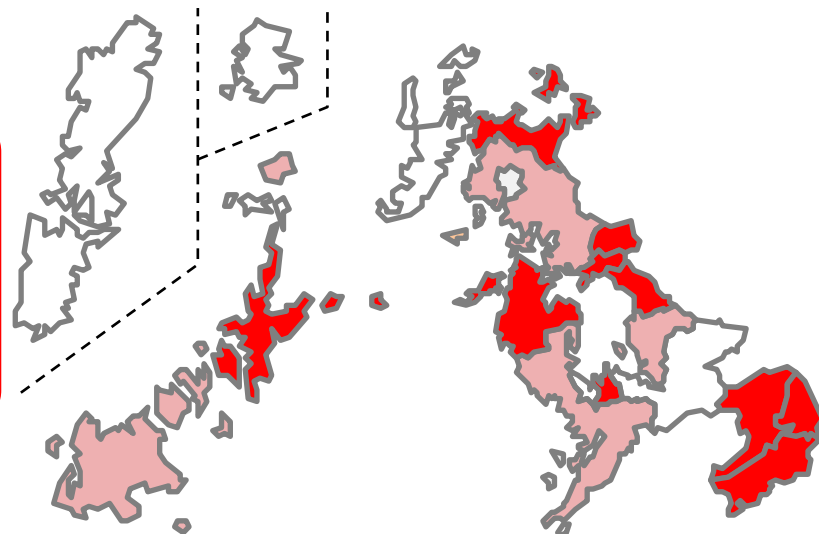


モデル教室

【成果】

長崎県内の地域日本語教室数
(モデル教室含む)

14市町14教室



- ①多文化推進拠点としての地域日本語教室のベースの構築
- ②県内市町、住民の多文化共生意識向上

【課題】

- ①地域日本語教室への住民の呼び込みと、いつでも声をかけあえる緩い繋がりの継続性を高めるための取組
- ②令和7年度以降の事業自走化以降の事業持続のための取組体制
- ③空白地域への対応

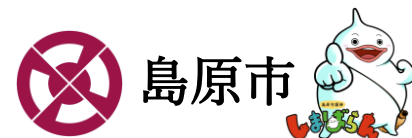
成果と課題

【主催：文化庁国語課 地域日本語教育推進室】
令和5年度都道府県・市区町村等日本語教育担当者研修

都道府県と市区町村 が密接に連携した包 括的な日本語教育の 実施体制構築

令和6年2月15日
島原市市長公室
政策企画課政策振興班 吉川 洋祐

地域日本語教育
の総合的な体制
づくり推進事業
活用

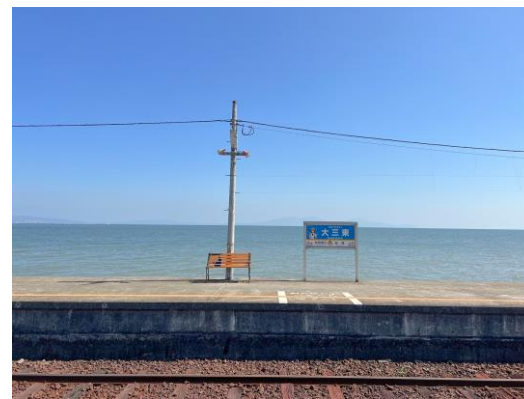


長崎県島原市

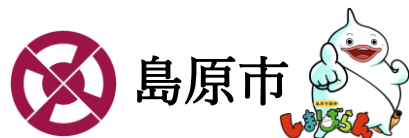
- ・ 長崎県の南東部、島原半島の東部に位置
- ・ 市内の至るところから湧水が湧き出る、古き良き城下町
- ・ 平成新山を中心とした傾斜地、県下有数の田園地帯
- ・ 雲仙天草国立公園、島原半島ユネスコ世界ジオパークなど豊かな自然環境
- ・ H3雲仙普賢岳噴火災害からの復興



令和6年(2024年)に築城400年を迎えた島原城

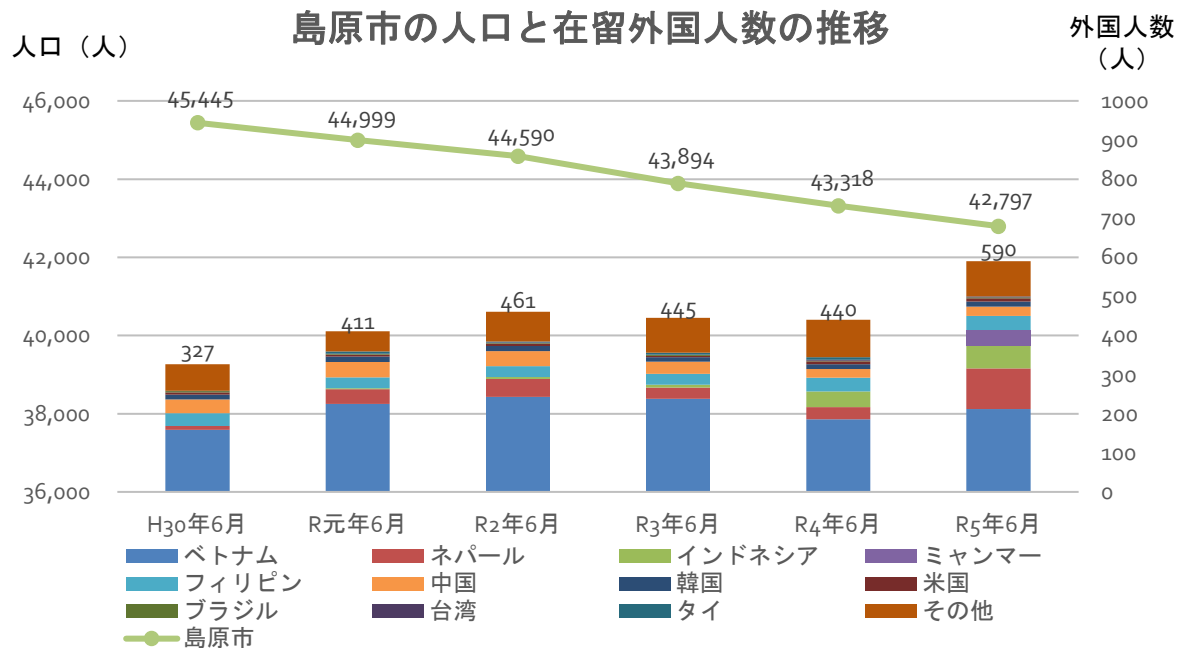


「日本一海に近い駅」として多くの観光客が訪れる、島原鉄道 大三東(おおみさき)駅



島原市内の外国人の状況

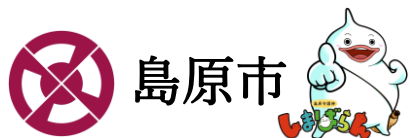
- ・ 人口 42,797人(令和5年6月末時点)
- ・ 外国人数 590人(1.38%)



就労資格	R2	R3	R4	R5
技能実習	306	288	200	269
特定技能	13	32	94	114
その他	27	22	40	43
計	346	342	334	426

出展: 出入国在留管理庁「在留外国人統計」

人口減少、少子高齢化による人手不足が続く本市にとって、外国人の方々が貴重な労働力の一端を担っている現状



取組前

- ・ 島原市における独自事業はなし(R4年度以前)
- ・ 外国人が増加しているが、勤務場所等詳細は把握せず
- ・ 市内に日本語学校が2箇所あり
- ・ 市内に国際交流クラブあり

地域日本語教育への参画 (日本語学習支援者養成講座の開催へ)

長崎県 長崎県国際交流協会	市内日本語学校	市内国際交流クラブ
<ul style="list-style-type: none">・ 各種説明会、セミナー、先進地視察に参加・ 「なぜ、いま日本語教育が必要なのか」について理解が進む	<ul style="list-style-type: none">・ 外国人の居場所づくりに積極的な姿勢・ 島原市における日本語学習支援者養成講座開催への協力	<ul style="list-style-type: none">・ 地域の外国人との交流等豊富な活動実績・ 会員の高齢化等、活動の先細りを懸念

事業の必要性や一定の需要、関係者の協力の目途が立ち、日本語学習支援者養成講座の開催を希望



島原市



R5モデル教室 の目的・目標 実施体制

目的

長崎県国際交流協会の事業を活用した地域日本語教育のモデル教室を開催し、日本語学習支援者との「やさしい日本語」を用いた交流の場を通して、外国人住民が日本語を学習する環境を整え、また地域で安心して生活・活動できるよう支援するもの

目標

日本語教育を通して、市民と地域の外国人が交流できる日本語教室を定期的に行う

実施体制

- ・運営：島原市、長崎県・長崎県国際交流協会(以下、「協会」)
- ・地域日本語教育コーディネーター：島原市内日本語学校
(※長崎県国際交流協会が委嘱、以下「コーディネーター」)
- ・日本語学習支援者：日本語学習支援者養成講座修了者



事業内容①

日本語教室概要

- 令和5年度から、月に一回日本語教室をトライアル的に開催
- 毎回異なるテーマを設定
例: お祭り、防災、書初め、スポーツ
- 公民館における座学(交流や対話を通じた日本語学習)を基本とし、野外におけるレクリエーションも実施
- 外国人参加者
ALT、技能実習生、留学生、日本人配偶者 等



今後、今年度の開催実績や費用、参加者の声を分析し、R6年度のモデル教室の方針・スケジュール等を策定するとともに、**早くてR7年度からの自走化**を目指す。



事業内容②

日本語教室の進め方

活動シート例

■□11/25 テーマ:防災ぼうさい■


●ことば

●無人島むじんとうに何を持っていきますか?

①災害さいがい


*どんな災害さいがいがありますか?
 () では、_____ があります。
 () では、_____ があります。

②防災ぼうさい

* () のとき、どうしますか? 

* () のとき、どこへ逃げますか?

* () のとき、何をなん持っていきますか?

*どんな防災ぼうさいをしますか? 

○協会・コーディネーター・本市の3者
で日本語教室の実施計画を策定
(スケジュール、テーマ等)

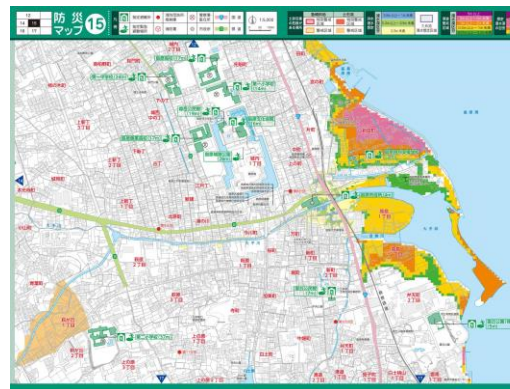
○当日の資料案(活動シート、スライド
等)の作成及び進行はコーディネーター
が担当

①活動シートに沿って
「やさしい日本語」を用いて
グループで会話

②グループでの会話内容を
外国人参加者が発表
(①～②の繰り返し)

お互いの文化・風習について
理解を深めながら、日本語を
学んでもらう仕組み

島原市防災マップ



本市の防災担当
課職員による
避難場所の紹介、
防災グッズの説明等

